

# 凡事徹底 野間中だより

平成27年9月25日  
第216号  
野間中学校

## 美浜町フレンドシップ草の根国際交流の旅2015 シンガポール 報告 (抜粋)



### 三宅 柚花

今回の旅に美浜町を代表して行かさせていただきました。5日間という長いようで短い期間でしたが、私はシンガポールの文化や歴史などを学ぶことができました。私のテーマであった「英語の違い」についても知ることができました。アジア民族が多いシンガポールでは、国語はマレー語、公用語はマレー語・標準中国語・英語・タミール語が使われていました。シンガポールは元イギリスの植民地だったせいか英語はどちらかというとブリティッシュ英語よりの発音でした。学校で習う英語とはかなり発音に違いがあったので聞き取ることが難しく、それを察してくれたホストファミリーの方々はゆっくりと話してくれました。今回お世話になったホストファミリーのみなさんや引率の方々、送り出してくれた両親に感謝しています。

### 田村乃々佳

シンガポールで、私は朝食として「カヤトースト」をいただきました。私が食べたカヤトーストは2つセットで焼き加減がとても良くおいしかったです。トーストの中身はバターとカヤと呼ばれるジャムです。カヤというのはココナッツを砂糖と卵で煮詰めたものだそうです。その他にもアイスカチャンという日本で言うかき氷や、昼ご飯で食べたチキンライスなどどれも日本では味わえない食事でもとてもおいしかったです。訪問先のニースン中学校の食堂には現地の料理の他に中華料理や日本料理もあり驚きました。シンガポールでの食事は想像とは違う食感や味のものがあつた、わたしのテーマである「シンガポールの食文化」を肌で感じることができました。



### 野田 桐子

シンガポールは総面積約718km<sup>2</sup>で日本の東京23区とほぼ同じです。以前は575km<sup>2</sup>だったそうで、埋め立て地が多いのだそうです。人口は約540万人、そのうちの7割が中国系の方々です。設立は1965年で今年50周年を迎えたそうです。町並みはとてもきれいです。そのきれいな町並みを守るために少し変わった法律がありました。「花火やエアガンを発射したら罰金」「庭の草がある長さ以上になると罰金」そして「ドリアンを電車に持ち込むことは禁止」などです。今回のシンガポール訪問で驚いたこと、新しく発見したことがたくさんありました。今回の体験を今後の生活に生かしたいと思つています。

### 野田 彩摘

今回ニースン中学校を訪問し、日本の中学校との違いに驚くことがたくさんありました。ニースン中学校はビルで階数が多く上り下りが大変でした。授業も30分のものであれば90分の授業もありました。そのため昼食を食べる時間は決まっておらず、昼食を2回食べることも珍しくないそうです。授業の言語はすべて英語でした。わたしはニースン中学校のペットボトルロケットづくりの授業に参加しました。すべて英語なので少し不安でしたが、絵を見て、わかる単語を少しずつ訳していくうちにだんだんわかることが多くなりました。さらにニースン中の生徒のみなさんや先生方が丁寧に、優しく教えてくれ、思いやりと温かさを感じました。生活リズムが日本と全く違うので戸惑うことがありましたがホストファミリーのみなさんや一緒に行った仲間の支えで楽しい派遣になりました。



### 松村 裕史

今回のシンガポール派遣でわたしの関心はたくさんの民族が集まっているシンガポールの食生活でした。同じチキンライスでも店によって味はかなり違いました。タレにつけたご飯もあれば油が多く甘めのもの、あっさりとしたものなど初めて味わうチキンライスばかりでした。ギョウザも日本とは違い、甘辛く野菜が多く、タレも日本のタレとは違いました。かき氷のアイスカチャンではコーラや抹茶など4種類のシロップがかけてあり、てっぺんにはコーンポタージュがのっているという大変不思議な食べ物でしたが貴重な体験でした。たくさんの民族が暮らすシンガポールの食文化を体験でき、ホストファミリーのみなさんにも温かく接していただき大変楽しく、貴重な体験ができました。ありがとうございました。



## 第69回半田市体育大会（半田祭）

中学生の部 柔道 個人軽量級 準優勝 鈴木 悠大

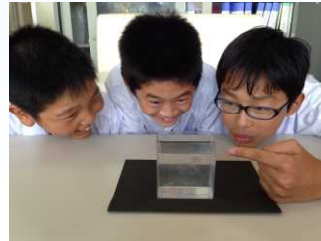


### 希少マミズクラゲを森田先生からいただきました

9月10日（木）以前野間小学校で理科の先生としてご活躍した森田博文先生（野間在住）より、「マミズクラゲ」をいただきました。マミズクラゲは非常に珍しい淡水産のクラゲの一種で発見されることはたいへん希（まれ）だそうです。

森田先生はカエルなどの水に住む生物の研究者で、野間の農業用人工池で9年ぶりに発見したそうです。発見の知らせに新聞社、テレビ局だけでなく、岡山県の研究者、山梨県の水族館関係者、帝京大学の学生などが先生のもとを訪れたそうです。

なおこのマミズクラゲは南知多ビーチランドで展示される予定です。野間中学校でも理科の授業で生徒らに紹介していきます。



### 日本福祉大学剣道部 美浜町・南知多町の中学生と合同稽古

日本福祉大学剣道部のみなさんが美浜町・南知多町の中学生と合同で稽古会を行ってくれました。日福大剣道部のみなさんは剣道を通して、中学生の技量向上とともに地域交流の一環として合同稽古会を行ってくれました。

<参加した生徒より>

大学生のみなさんに稽古をつけてもらい、とてもよい体験ができました。僕たち中学生では大学生の相手にはならないけれど、自分たちに稽古時間を割いて教えていただきました。習ったことを学校で練習したいと思います。ありがとうございました。



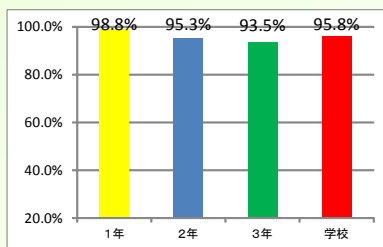
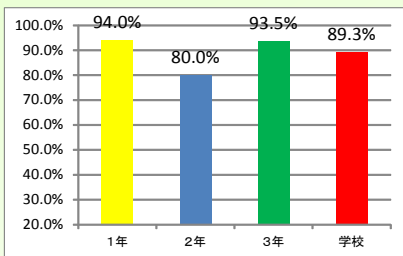
### 生活アンケート 生徒指導主事 森下 功一

7月に学校生活を今一度見直そうという試みで全校一斉学校生活アンケートを実施しました。

※グラフの数字は「はい・できている」とこたえた生徒の割合です。

Q.自らあいさつできていますか

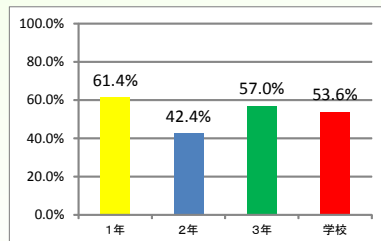
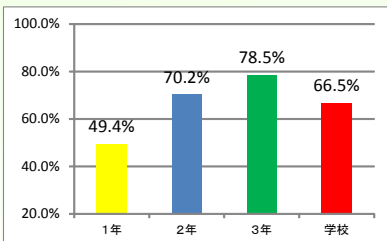
Q. 服装は整っていますか



今年度野間中の重点努力目標のひとつが「自ら進んで家庭に地域にみんなにあいさつができる生徒の育成」です。恥ずかしさも手伝ってか2年生がやや低いですが、100%を目指して、これからもあいさつ運動などを行っていききたいと思います。また、服装も多くの生徒は整っていますが、たまに男子でシャツを出して注意を受ける光景も目にします。当たり前前（あたりまえ）のことが当たり前前（あたりまえ）にできる野中生を目指したいと思います。

Q. 忘れ物はありませんか

Q. ハンカチをもっていますか



忘れ物について、学年があがるに連れて数値は良くなっていますが、全学年が3割から4割が「ある」ということは問題です。忘れ物と学習成績は相関関係があります。連絡帳を正確に書くなどして忘れ物なしになるようにしたいですね。また、ハンカチの所持は衛生的な生活を送る上でも大切です。気をつけましょう。

今回実施した学校アンケートの結果は順次野間中だよりで紹介していきます。ご家庭でもこのアンケートの結果を話題にいただければ幸いです。

「野間中だより」に関するご感想やご意見がございましたら、編集部までお寄せください。

野間中だより編集部 [nomajh\\_dayori@yahoo.co.jp](mailto:nomajh_dayori@yahoo.co.jp)